

平成20年7月30日

上場会社名 任天堂株式会社

コード番号 7974 URL <http://www.nintendo.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 岩田 聰

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 経営統括本部長

(氏名) 森 仁洋

TEL 075-662-9600

四半期報告書提出予定期 平成20年8月8日

(百万円未満切捨)

## 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	423,380	—	119,192	—	176,892	—	107,267	—
20年3月期第1四半期	340,439	160.0	90,631	214.7	131,449	302.3	80,251	416.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	838.75	—
20年3月期第1四半期	627.45	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	1,772,265	1,211,481	68.3	9,471.45
20年3月期	1,802,490	1,229,973	68.2	9,616.69

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 1,211,286百万円 20年3月期 1,229,874百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	140.00	—	1,120.00	1,260.00
21年3月期(予想)	—	140.00	—	1,230.00	1,370.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

( % 表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率 )

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期連結累計期間 通期	760,000	—	210,000	—	215,000	—	125,000	—	977.41	
	1,800,000	7.6	530,000	8.8	550,000	24.8	325,000	26.3	2,541.28	

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 141,669,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 13,780,883株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 127,888,995株

20年3月期 141,669,000株

20年3月期 13,779,353株

20年3月期第1四半期 127,901,167株

## ※将来に関する記述等についての注意事項

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでいます。現実の結果(実際の業績及び配当予想額を含みますが、これに限られません。)は様々な要因の変化により、これら見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきくださいますようお願い致します。なお、予想の前提条件その他の関連する事項については、2ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

## 【定性情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループは、「ゲーム人口の拡大」の実現に向けて、携帯型ゲーム機「ニンテンドーDS」及び据置型ゲーム機「Wii」において、従来のゲームの定義に捉われることなく、直感的な操作を取り入れるなど、老若男女を問わず多くの方々に楽しんでいただける製品の提供に努めています。その結果、当第1四半期の売上高は4,233億円、営業利益は1,191億円、経常利益は1,768億円、四半期純利益は1,072億円と、全てにおいて前年同期を上回りました。

売上を事業の種類別に見ますと、レジャー機器部門において、携帯型ゲーム機関連では、「ニンテンドーDS」の売上が前年同期に比べ、北米、欧州を中心とした海外では増加したものの、国内では減少しており、当第1四半期の全世界における販売台数は4万台減少し、694万台（累計販売台数は7,754万台）となりました。対応ソフトウェアでは、当期に海外で発売した「ポケモン不思議のダンジョン 時の探検隊／闇の探検隊」などの売れ行きが好調に推移するなど、当第1四半期の全世界におけるソフトウェア全体の販売本数は前年同期に比べ、233万本増加し、3,659万本になりました。

据置型ゲーム機関連では、「Wii」の北米、欧州における普及が加速しており、当第1四半期の全世界における販売台数は前年同期に比べ、174万台増加し、517万台（累計販売台数は2,962万台）となりました。また、対応ソフトウェアでは、ハンドル型コントローラ「Wiiハンドル」を使った操作で実際に運転をしているような感覚で楽しめる「マリオカートWii」を全世界で発売したほか、前期に国内で発売して以来多くの方々に受け入れていただいている「Wii Fit」を海外にも投入し、全世界でそれぞれ642万本、342万本を販売しました。更に、発売以降長期に渡って売れ行きが好調な「Wiiスポーツ」や「はじめてのWii」も引き続き好調な販売を記録するなど、当第1四半期の全世界におけるソフトウェア全体の販売本数は前年同期に比べ、2,442万本増加し、4,041万本となりました。

上記により、レジャー機器部門は売上高4,226億円（前年同期3,396億円）、その他（トランプ・かるた他）部門の売上高は7億円（前年同期7億円）となりました。

業績における所在地別セグメント状況を見ますと、日本では売上高が3,869億円（セグメント間の内部売上高3,371億円を含む）、営業利益が1,181億円、南北アメリカでは売上高が1,677億円（セグメント間の内部売上高5億円を含む）、営業利益が79億円、欧州では売上高が1,810億円（セグメント間の内部売上高2百万円を含む）、営業利益が86億円となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期において主に法人税等や配当の支払いを行ったことにより、現金及び預金が減少し、総資産は前期末に比べ302億円減少し、1兆7,722億円となりました。また、未払法人税等も減少し、負債は前期末に比べ117億円減少し、5,607億円となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループは、提供する娯楽を通じて関わる多くの人々を笑顔にしたいとの考え方の下、継続的な「ゲーム人口の拡大」に取り組み、老若男女を問わず多くの方々に楽しんでいただける製品の提供に努めます。

「Wii」においては、リビングルームにおける家族のコミュニケーションを通じて「取り巻く人々を笑顔にするマシン」となることを目指し、従来のゲームジャンルに加えて、毎日の生活に関係した遊びの開発にも取り組んでいます。また、「ニンテンドーDS」においても、引き続き様々なソフトウェアの展開を行うほか、普及率の高さを活かした新たな用途の開拓を進め、「所有者の生活を豊かにするマシン」となることで、「一家に一台」から「一人に一台」という究極の目標に少しでも近づけるよう、普及を推し進めていきます。

なお、当期の業績予想につきましては、「平成 20 年 3 月期 決算短信」において発表した同予想から変更しておりません。

## 4. その他

### (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 法人税等の算定方法

法人税等の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっています。

一部の連結子会社については、当第 1 四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

#### ①「四半期財務諸表に関する会計基準」等の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第 12 号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 14 号)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

#### ②重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

##### 製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品

通常の販売目的で保有する製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品については、従来、移動平均法による低価法によっていましたが、当第 1 四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第 9 号)を適用し、主として移動平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しています。なお、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微です。

#### ③「リース取引に関する会計基準」等の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっていましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第 13 号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 16 号)を当第 1 四半期連結会計期間から適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっています。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとする定額法を採用しています。なお、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

#### ④「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第 1 四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第 18 号)を適用し、連結決算上必要な修正を行っています。なお、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微です。

## 5. 四半期連結財務諸表

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	期 別 当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)	
		金 項	金 項
<b>(資産の部)</b>			
<b>I 流動資産</b>			
現金及び預金	715,628	899,251	
受取手形及び売掛金	190,289	147,787	
有価証券	444,861	353,070	
製品	113,602	92,617	
仕掛品	327	200	
原材料及び貯蔵品	10,237	12,023	
その他	139,495	144,060	
貸倒引当金	△ 2,106	△ 2,176	
<b>流動資産合計</b>	<b>1,612,337</b>	<b>1,646,834</b>	
<b>II 固定資産</b>			
有形固定資産	56,875	55,150	
無形固定資産	1,983	2,009	
投資その他の資産	101,069	98,495	
<b>固定資産合計</b>	<b>159,927</b>	<b>155,655</b>	
<b>資産合計</b>	<b>1,772,265</b>	<b>1,802,490</b>	

(単位:百万円)

期 別 科 目	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表	
		金額	金額
(負債の部)			
I 流動負債			
支払手形及び買掛金	344,139	335,820	
未払法人税等	82,896	112,450	
引当金	821	1,848	
その他	123,126	117,103	
流動負債合計	550,984	567,222	
II 固定負債			
引当金	4,649	4,506	
その他	5,150	786	
固定負債合計	9,799	5,293	
負債合計	560,783	572,516	
(純資産の部)			
I 株主資本			
資本金	10,065	10,065	
資本剰余金	11,644	11,640	
利益剰余金	1,345,540	1,380,430	
自己株式	△ 156,276	△ 156,184	
株主資本合計	1,210,973	1,245,951	
II 評価・換算差額等			
その他有価証券評価差額金	5,516	5,418	
為替換算調整勘定	△ 5,203	△ 21,495	
評価・換算差額等合計	312	△ 16,077	
III 少数株主持分	194	98	
純資産合計	1,211,481	1,229,973	
負債純資産合計	1,772,265	1,802,490	

## (2) 四半期連結損益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位:百万円)

科 目	期 別	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月 1日 至 平成20年6月30日)
	金 領	
I 売上高		423,380
II 売上原価		243,691
売上総利益		179,688
III 販売費及び一般管理費		60,496
営業利益		119,192
IV 営業外収益		58,251
受取利息		9,700
為替差益		47,844
その他		706
V 営業外費用		551
売上割引		145
有価証券償還損		390
その他		15
経常利益		176,892
VI 特別利益		3,625
VII 特別損失		52
税金等調整前四半期純利益		180,464
法人税、住民税及び事業税		77,398
法人税等調整額		△ 4,297
少数株主利益		96
四半期純利益		107,267

(注)連結参考情報

(単位:百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月 1日 至 平成20年6月30日)
有形固定資産減価償却額	1,833
研究開発費	8,847
広告宣伝費	33,643

## 「参考資料」

### (要約)前四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年4月 1日 至 平成19年6月 30日)
	金 項	
I 売上高		340,439
II 売上原価		201,336
<b>売上総利益</b>		<b>139,103</b>
III 販売費及び一般管理費		48,471
<b>営業利益</b>		<b>90,631</b>
IV 営業外収益		41,144
為替差益		29,032
その他		12,112
V 営業外費用		326
<b>経常利益</b>		<b>131,449</b>
VI 特別利益		649
VII 特別損失		15
<b>税金等調整前四半期純利益</b>		<b>132,084</b>
税金費用		51,898
少数株主利益		△ 66
<b>四半期純利益</b>		<b>80,251</b>

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

### (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

### (4) セグメント情報

#### 1. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの取扱製品をその種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性にて判別したところ、全セグメントの売上高の合計及び営業損益の金額の合計に占める「レジヤー機器」の割合がいずれも90%を超えていて、また、当該セグメント以外で、開示基準に該当するセグメントがありません。従つて、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しています。

#### 2. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)

(単位:百万円)

	日本	南北アメリカ	欧州	その他の地域	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	49,834	167,259	181,005	25,281	423,380	-	423,380
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	337,134	531	2	93	337,761	(337,761)	-
計	386,968	167,790	181,007	25,374	761,141	(337,761)	423,380
営業利益	118,162	7,932	8,691	2,100	136,886	(17,694)	119,192

#### 3. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)

(単位:百万円)

	南北アメリカ	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高 .....	167,639	181,010	27,853	376,502
II 連結売上高 .....				423,380
III 連結売上高に占める海外売上高の割合 .....	39.6%	42.8%	6.5%	88.9%

### (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 6. その他の情報

### (1) 連結販売実績

(単位:百万円)

事業の種類別セグメント	主要製品	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年4月 1日 至 平成19年6月 30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月 1日 至 平成20年6月 30日)
レジヤー機器	ハードウェア	224,374	262,206
	ソフトウェア	115,322	160,429
	レジヤー機器 計	339,697	422,636
その他	トランプ・かるた他	742	743
	合 計	340,439	423,380

## (2) 連結販売実績数量及びタイトル数

		地区	前第1四半期 実績	当第1四半期 実績		販売数(単位:万台・万本)、タイトル数(単位:本)
					累計	
ゲームボーイアドバンス	ハード	国内	2	1		1,689
		米大陸	32	△ 0		4,164
		その他	21	18		2,271
		計	56	19		8,124
	ソフト	国内	14	4		7,276
		米大陸	288	23		21,713
		その他	67	1		8,705
		計	369	28		37,694
	タイトル数	国内	-	-		786
		米大陸	7	-		1,021
		その他	9	-		921
ニンテンドーDS	ハード	国内	208	58		2,297
		米大陸	239	271		2,511
		その他	250	365		2,947
		計	698	694		7,754
	ソフト	国内	979	493		11,993
		米大陸	1,129	1,433		13,753
		その他	1,318	1,733		14,873
		計	3,426	3,659		40,619
	タイトル数	国内	92	100		1,003
		米大陸	45	66		633
		その他	56	89		693
ニンテンドーゲームキューブ	ハード	国内	0	△ 0		404
		米大陸	4	△ 0		1,294
		その他	0	△ 0		477
		計	4	△ 0		2,174
	ソフト	国内	4	1		2,753
		米大陸	102	6		13,848
		その他	7	2		4,255
		計	112	9		20,856
	タイトル数	国内	-	-		275
		米大陸	2	-		552
		その他	-	-		453
Wii	ハード	国内	95	53		643
		米大陸	144	250		1,311
		その他	104	215		1,008
		計	343	517		2,962
	ソフト	国内	278	390		2,496
		米大陸	870	1,934		9,871
		その他	450	1,716		6,517
		計	1,598	4,041		18,885
	タイトル数	国内	16	16		169
		米大陸	25	42		283
		その他	23	41		270

(注) 1 上記のタイトル数におけるその他は、欧州及び豪州で発売されたタイトル数です。

2 上記のWiiの販売実績数量及びタイトル数には、バーチャルコンソール及びWiiウェアの数量を含みません。

3 予想は、ハード同梱ソフトの売上数量を含みません。

## (3) 提出会社の主な未予約外貨建資産及び負債

	当第1四半期末 残高	(単位:百万ドル、百万ユーロ)		
		当第1四半期 為替レート	当期末想定 為替レート	
US ドル 建 現 預 金	1,843	期中平均レート(USドル)	¥104.55	
US ドル 建 売 掛 金	1,388	期末レート(USドル)	¥106.42	¥100.00
US ドル 建 買 掛 金	510			
ユーロ 建 現 預 金	1,330	期中平均レート(ユーロ)	¥163.43	
ユーロ 建 売 掛 金	1,025	期末レート(ユーロ)	¥168.07	¥155.00